



学校だより

# 開桜 10月号

令和2年9月29日  
大田区立開桜小学校  
校長 伊藤 均

## 改めて気付いた、考えた

校長 伊藤 均

先週の26日(土)に学校公開がありました。「百聞は一見に如かず」と言われるように、学校の様子(子供・教職員・環境)を理解する上で、実際に見ていただくことに勝る方法はありません。今年度は実施を見送る学校もあると聞きますが、「思い切った方法」で実施いたしました。時差登校と各家庭1名制限へのご協力ありがとうございました。

先日の4連休から、プロ野球やイベントの入場制限が緩和されました。収容人数の50%とはいえ、これまで無観客や空席ばかりのスタジアムを観ていた身には新鮮に映りました。選手たちは口々に、「お客さんがいることが当たり前だと思っていた。でもそうではなかったとわかった。」と話していたのが印象的です。コロナ禍が、当然のことだと思っていた事柄を見つめ直すよい機会となっているようです。

学校も同じです。全校児童が集まって話を聞いたり歌ったりすること、身体を使って支えあったり競い合ったりすること、適度に会話しながら給食を食べること等、いつも行っていたことが半年間も行うことができている状況だからこそ、それぞれの価値に改めて気付くことができました。

未だ収束が見通せないので、価値ある活動を安全に実践するために、思い切った工夫(特別な方法)で取組を変化させたり、新しいことにトライしたりしていこうという空気が生まれています。クラブ活動も新たに作り直してスタートしました。パフォーマンスビデオ集也会も初めて行います。遠足も行先や行き方、昼食の方法等を変えて実施していく予定です。

学校にとって、私たち教師にとって、大きな転換点となっているように思います。変える勇気を持ち、変化することを前向きに受け止める学校でありたいです。



## 地域の方からの声に元気と勇気をいただいています

地域の方々から、うれしいお便りやご連絡をいただきました。敬老の日にあたっての子供たちのメッセージカードに対して「元気がもらえた。来年も受け取れるように長生きします!」というお礼や、困っていた時に手伝ってくれた児童の礼儀正しさに「感激しました!」というものです。

## 10月の行事予定

- 1日(木) 生活科校外学習(1年)
- 7日(水) 4校時授業(4年5校時授業)
- 8日(木) 安全指導
- 12日(月) 全校朝会
- 14日(水) 委員会活動(4年6校時授業)
- 16日(金) 児童集会
- 20日(火) 遠足(3年)
- 23日(金) 生活科校外学習(2年)
- 26日(月) 全校朝会  
避難訓練(地震・起震車)
- 28日(水) クラブ活動
- 29日(木) 図書委員会集会
- 30日(金) 発表会リハーサル
- 31日(土) 体育学習発表会  
1~3年: 5校時授業  
4~6年: 6校時授業
- 11月1日(日) 体育学習発表会予備日
- 2日(月) 振替休業日

※SC(スクールカウンセラー) 在校日…火・木



## 10月31日(土)に「体育学習発表会」を行う予定です

児童、保護者、来賓、教職員で約1400名が集う、従来通りの「運動会」はできません。

そこで、名称も変更し、各学年50分間の体育授業公開という“特別な方法”で行います。

後日、ご案内を配布しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 10月の生活目標

みんなで使うものを大切にしましょう

学校には、クラスのボール、教室にある机や椅子、授業で使う道具など、みんなで使うものがたくさんあります。みんなが気持ちよく使うために、丁寧に、大切に、次に使う人のことを考えて使うように指導しています。また、自分勝手に使うのではなく、みんなが使うものだという思いやりの気持ちも育んでいきたいと思えます。

# クラブ活動

2学期に入り、子供たちが待ちに待ったクラブ活動が始まりました。4年生にとっては初めてのクラブ活動です。6年生や5年生が主体となって今年度の活動の計画や運営について話し合いまとめている姿は、さすが高学年です。これからも下学年を引っ張り、楽しく活動をしていく姿を期待しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「料理クラブ」の活動を中止し、新たに「歴史クラブ」・「なわとびクラブ」・「手品クラブ」の3つのクラブを加え、全部で14種類のクラブで活動しています。どのクラブも、感染対策に気を付けながら、活動していきます。

<なわとびクラブ>



<図工クラブ>



<科学クラブ>



<パソコンクラブ>



## 学年の窓 4年生

4年生は、理科の授業で「雨水のゆくえ」の学習をしています。「雨が降った後、雨水はどこへ行ったのか。」という疑問から、「流れていった」「地面に染み込んだ」「空気中に出ていった」という3つの予想を立てました。

「流れていった」という予想を確かめる際には、校庭のくぼ地にラップフィルムを当てて、上から水を流しました。観察を通して地面の傾きと水の流れる方向の関係に気付くことができました。学習後には、雨の後の校庭を見て、「あそこに水たまりができていいるから、くぼ地になっているんだね。」という発見をしている姿も見られました。今後も、学習したことを基に、日常生活の中でもたくさんの発見をしてほしいです。



## 漢字検定結果

### 漢検チャレンジウィークの取組

本年度第1回目の大田区漢字検定を、9月16日に行いました。9月7日～16日を「開桜小漢検チャレンジウィーク」とし、朝学習の時間や授業で漢字の復習や過去の問題に取り組みました。

9月25日に、80点以上の児童に合格の認定証を交付しました。お子さんの取組の成果は、発揮されていたでしょうか。

大田区漢字検定第2回目は、2月に予定しています。漢字の読み書きの他にも、成り立ちや使い方にも興味をもち、楽しみながら学習を進めてほしいと考えます。

## 情報教育について

2学期に入り、インターネットを活用した学習ソフト「まなびポケット」の活用方法について指導を始めました。インターネットの中にある部屋のようなもので、各児童に割り当てられたIDとパスワードを使ってログインして使用します。

内蔵されている「ドリルパーク」には、学習単位ごとに細かくレベル分けされた問題が載っていて、児童は自分で問題を選んで学習できます。普段と違うPCを使った学習だからか、勉強に苦手意識のある児童でも前向きに取り組む姿が見られました。

子供たちが自分の力を高められるよう、少しずつ準備を進めていきます。